

# サンコール株式会社

## ～ 会社説明会 ～

### ご注意

本日の説明および配布資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

平成30年2月19日  
代表取締役社長 山主千尋

# サンコール株式会社 会社説明会

1. 会社概要
2. 平成30年3月期 第3四半期決算要約
3. 平成30年3月期 業績見通し
4. 中期経営方針 / 開発製品



## 2. 平成30年3月期 第3四半期決算要約 決算概要

(単位：百万円)	平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期		
	実績	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	28,059	30,984	+2,925	+10.4%
営業利益	1,646	1,706	+60	+3.7%
経常利益	1,187	2,037	+850	+71.6%
当期純利益	692	1,769	+1,077	+155.6%

一株当たり利益	21.81円	55.65円	+33.84円	---
平均為替レート 円/USD	106.64円	111.71円	+5.07円	---
円/EURO	118.03円	128.53円	+10.50円	---

- ・ 売上 : 自動車関連製品販売増、HDD用サスペンション販売高水準維持
- ・ 営業利益 : アジア拠点自動車分野増益、HDD用サスペンション増産コスト負担増
- ・ 経常利益 : 為替環境改善による為替差益
- ・ 純利益 : 有価証券売却益

## 2. 平成30年3月期 第3四半期決算要約

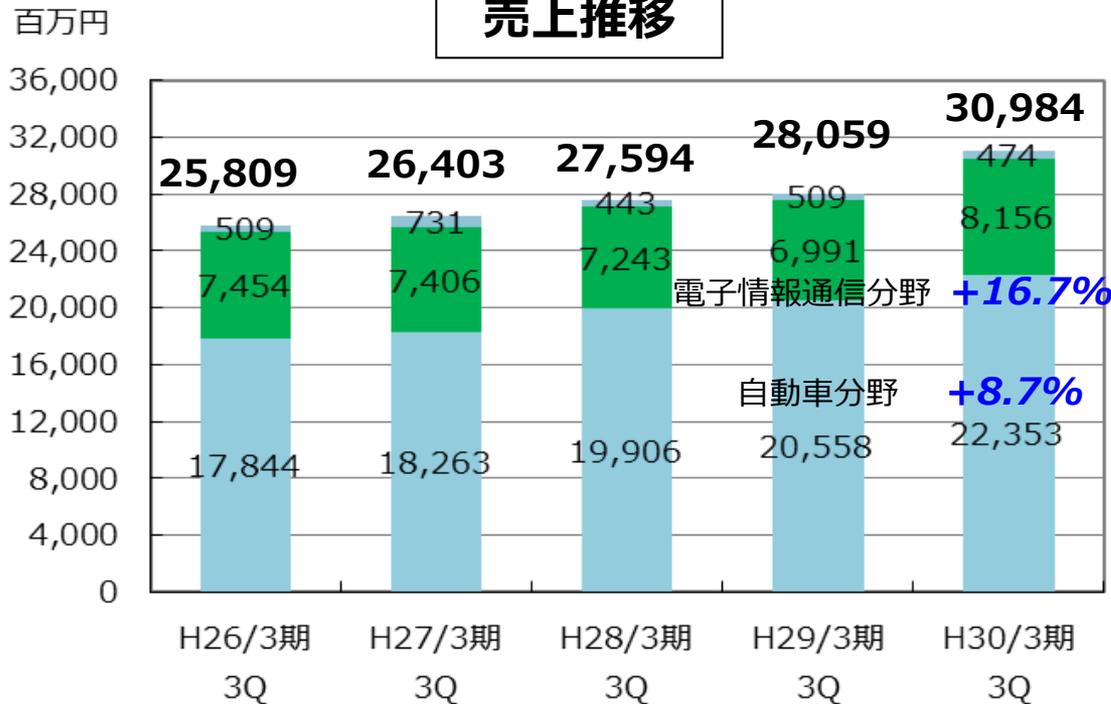
### 営業外損益 / 特別損益

(単位：百万円)	平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期	
	実績	実績	前年同期比 増減額
受取配当金	1 1 7	1 2 4	+ 7
為替差益	—	1 9 0	+ 1 9 0
その他	1 2 2	1 6 7	+ 4 5
<b>営業外収益合計</b>	<b>2 4 0</b>	<b>4 8 2</b>	<b>+ 2 4 2</b>
持分法投資損失	▲ 5 4	▲ 3 2	+ 2 2
為替差損	▲ 5 9 5	—	+ 5 9 5
その他	▲ 4 9	▲ 1 1 8	△ 6 9
<b>営業外費用合計</b>	<b>▲ 6 9 9</b>	<b>▲ 1 5 2</b>	<b>+ 5 4 7</b>
<b>営業外損益合計</b>	<b>▲ 4 5 9</b>	<b>3 3 0</b>	<b>+ 7 8 9</b>
<b>特別損益</b>	<b>▲ 1 6</b>	<b>4 1 3</b>	<b>+ 4 2 9</b>

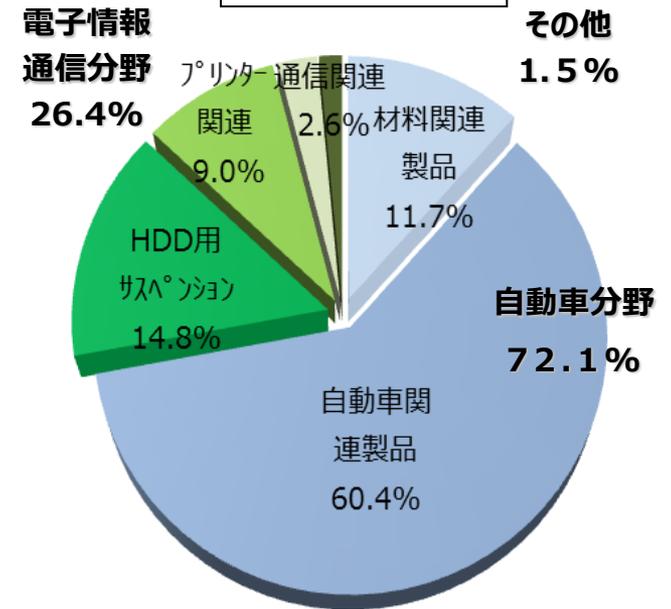
- ・ 為替差損益 : 円安基調（期中平均 前年106.64/ドル→当期111.71/ドル）、メキシコ ペソ高基調（期首20.66/ドル→期末18.15/ドル）による影響
- ・ 特別損益 : 有価証券売却益

## 2. 平成30年3月期 第3四半期決算要約 事業別売上推移・比率

売上推移



売上比率



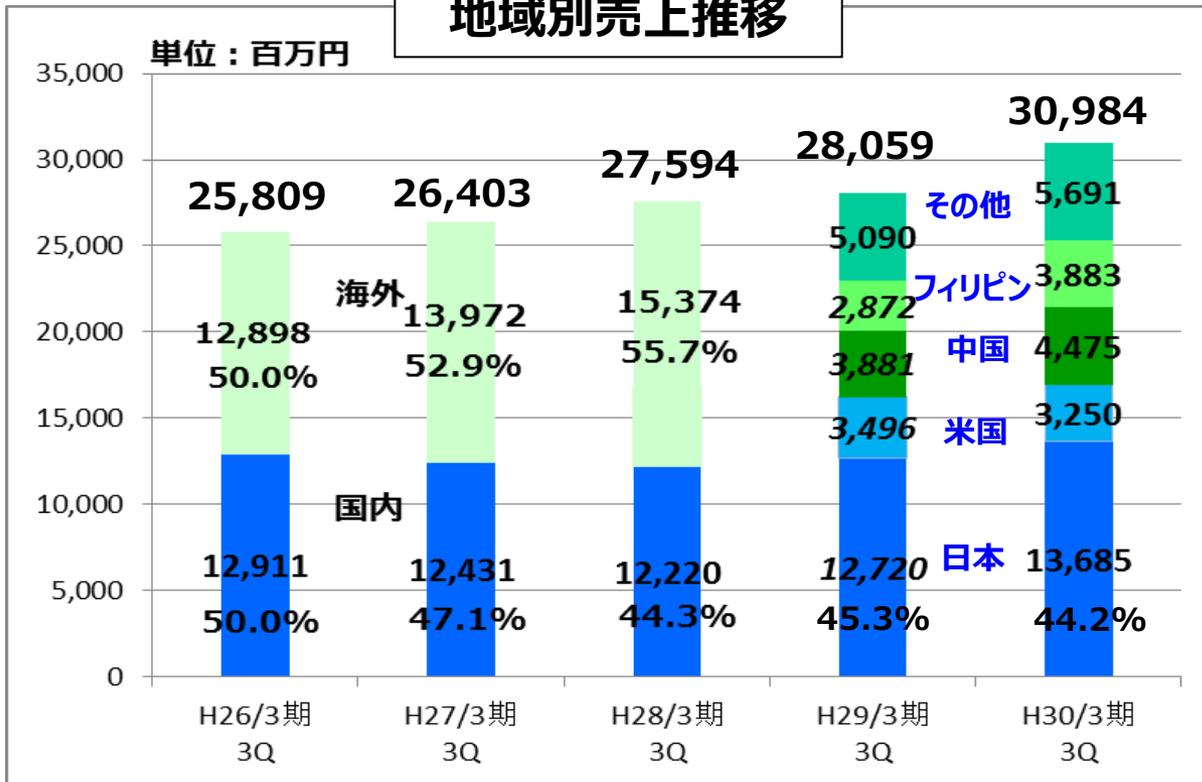
### － H30/3期第3四半期実績

- 自動車分野 : アジア、北米向け弁ばね用鋼材販売増  
日本、アジアでエンジン用部品の販売増、HV関連部品販売増
- 電子情報通信分野 : HDDサスペンション 大容量・高性能HDD対応モデルの需要増  
プリンター 中国、ベトナムで関連部品販売増  
通信関連販売減

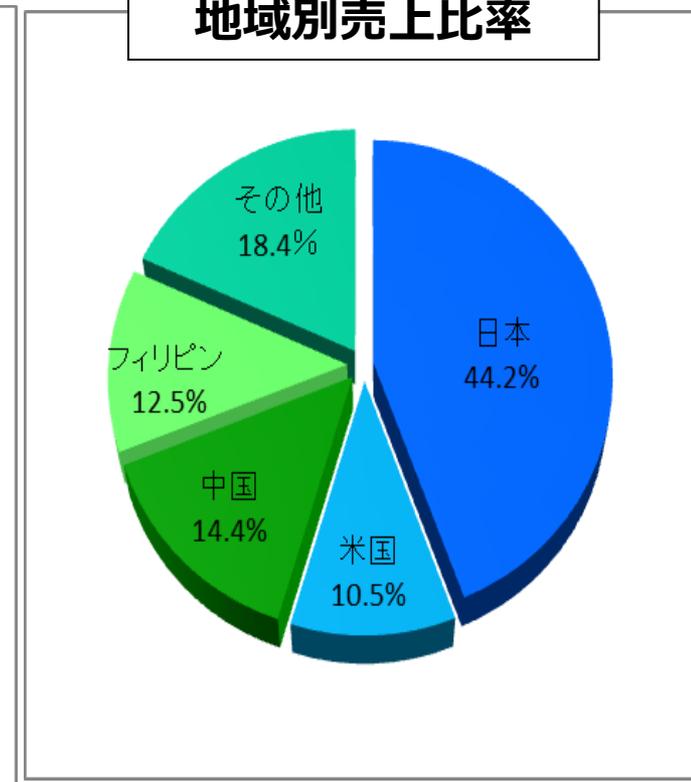
# 2. 平成30年3月期 第3四半期決算要約

## 地域別売上推移・比率

地域別売上推移



地域別売上比率



\* 売上高は顧客の所在地に基づく分類

### ー H30/3期第3四半期

- ・ 日本 : エンジン弁ばね、ミッション用ばね等、自動車関連製品の販売増
- ・ 北米 : エンジン部品のメキシコ生産移管
- ・ 中国 : 弁ばね用鋼材販売、エンジン部品の販売増
- ・ フィリピン : HDD用サスペンションの販売増
- ・ その他 : メキシコ 鋼材/エンジン部品の生産増、ASEAN 自動車関連製品の販売増

## 2. 平成30年3月期 第3四半期決算要約 連結財政状態

(単位:百万円)	平成29年3月末	平成30年12月末	増減
資産合計	45,296	48,855	3,559
現預金	7,865	9,887	2,022
売上債権	8,470	9,103	633
棚卸資産	4,956	5,531	575
その他流動資産	1,106	789	△ 317
固定資産	22,895	23,541	646
負債合計	12,422	14,147	1,725
流動負債	9,158	9,961	803
固定負債	3,263	4,186	923
(有利子負債)	1,580	2,815	1,235
純資産合計	32,874	34,707	1,833

## 3. 平成30年3月期 業績見通し

### 【事業環境】

	計画	第3四半期期中平均	4Q見通し
- 為替レート	ドル = 108円	→ 111.71円	108円
	ユーロ = 116円	→ 128.53円	135円
- 需要予測			
・自動車関連事業	: 国内・海外の受注堅調		
・HDD用サスペンション	: 第4四半期の需要は変動懸念あり		
・プリンター関連事業	: 受注は横ばいで推移		

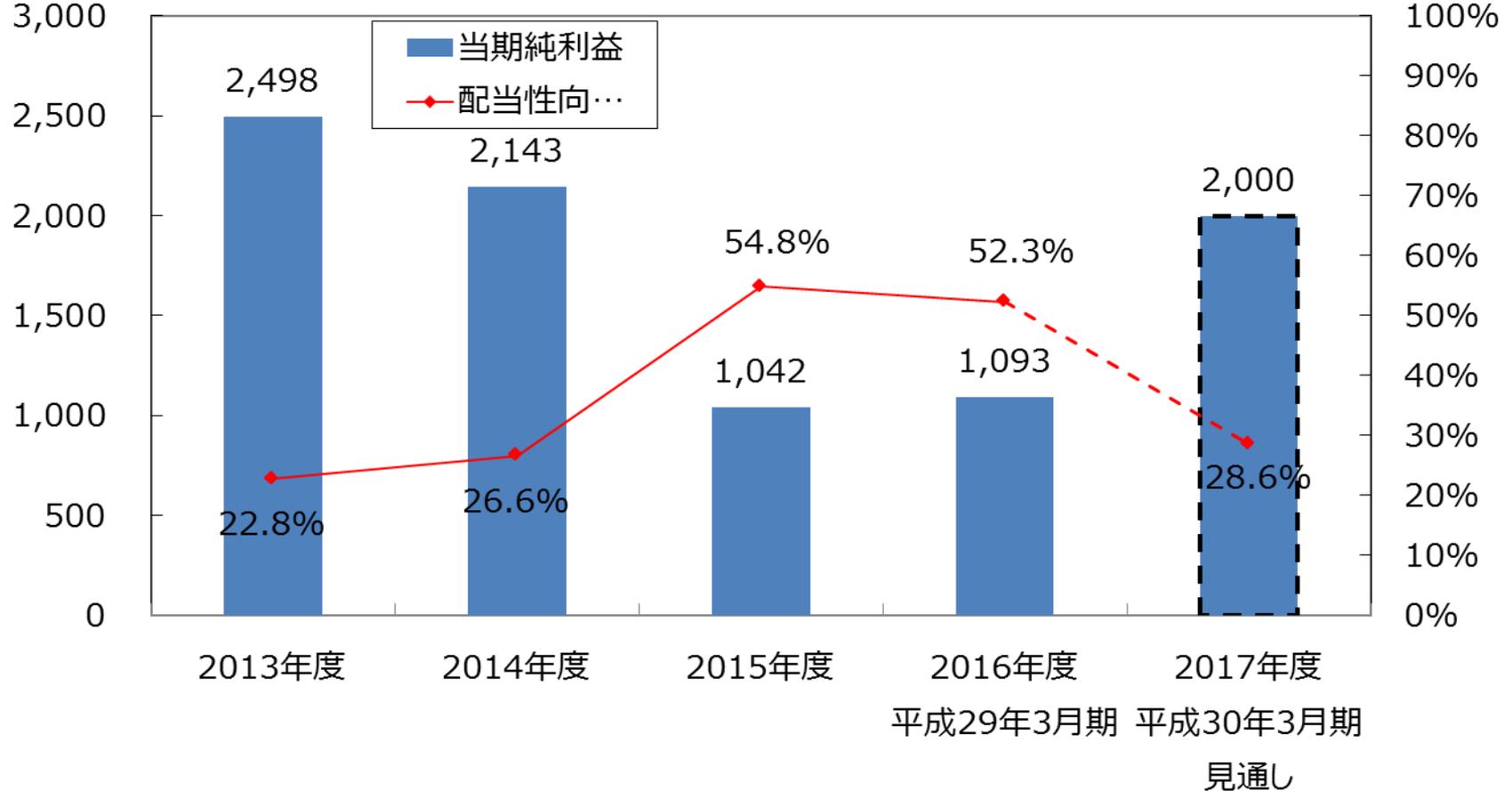
### 【通期見通し】

(単位：百万円)	平成30年3月期 第3四半期		平成30年3月期
	実績	進捗率	見通し (17年5月公示 据え置き)
売上高	30,984	74.7%	41,500
営業利益	1,706	63.3%	2,700
経常利益	2,037	78.3%	2,600
当期純利益	1,769	88.5%	2,000

現状では通期見通し据え置き。

### 3. 平成30年3月期 配当政策

単位：百万円



配当政策： 現行配当額1株18円の維持を下限目標

- 2017年度 (予定) : 中間配当 8円 / 期末配当 10円  
 合計 18円 / 配当性向 28.6%

## 4. 中期経営方針

### 中期経営方針 :

『企業価値向上』を目指し、コア事業の経営資源の効率化と成長分野への投資による事業の拡大発展を進める。

#### 1) 自動車関連事業

既存事業の基盤強化と拡大

自動車用線材生産能力引き上げによるグローバル最適生産・供給体制の構築

#### 2) 電子情報通信事業

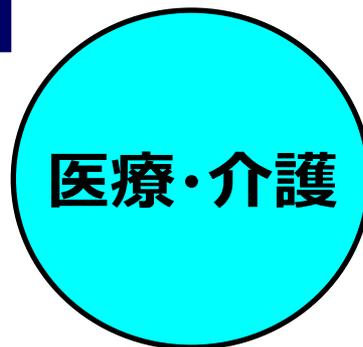
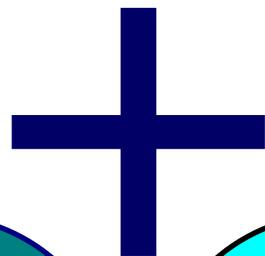
経営資源の集中と開発力、営業力の強化によるシェアの維持・拡大

#### 3) 新規事業

自動車電動化部品の開発、新素材の研究開発、医療・環境事業への参入

## 4. 開発製品

# SUNCALL New Technology



**既存事業**

材料関連・自動車関連・HDD用サスペンション  
プリンター関連・通信関連・測定器関連

**SUNCALL コア技術**

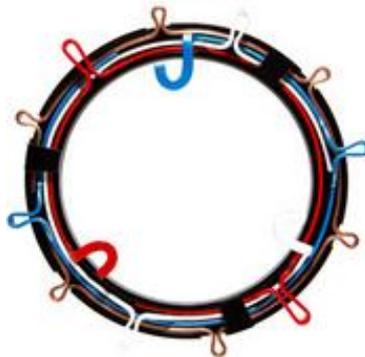
# 4. 開発製品

## — 自動車電動化製品 —

### 自動車電動化部品 EV/HV/PHV/FCV分野への参入



シャント・オン・バスバー（大電流センサー）  
KOA社共同開発



バスリング



モーターコア・ローター  
コアASSY



バスバー



リアクター・リアクトルコイル

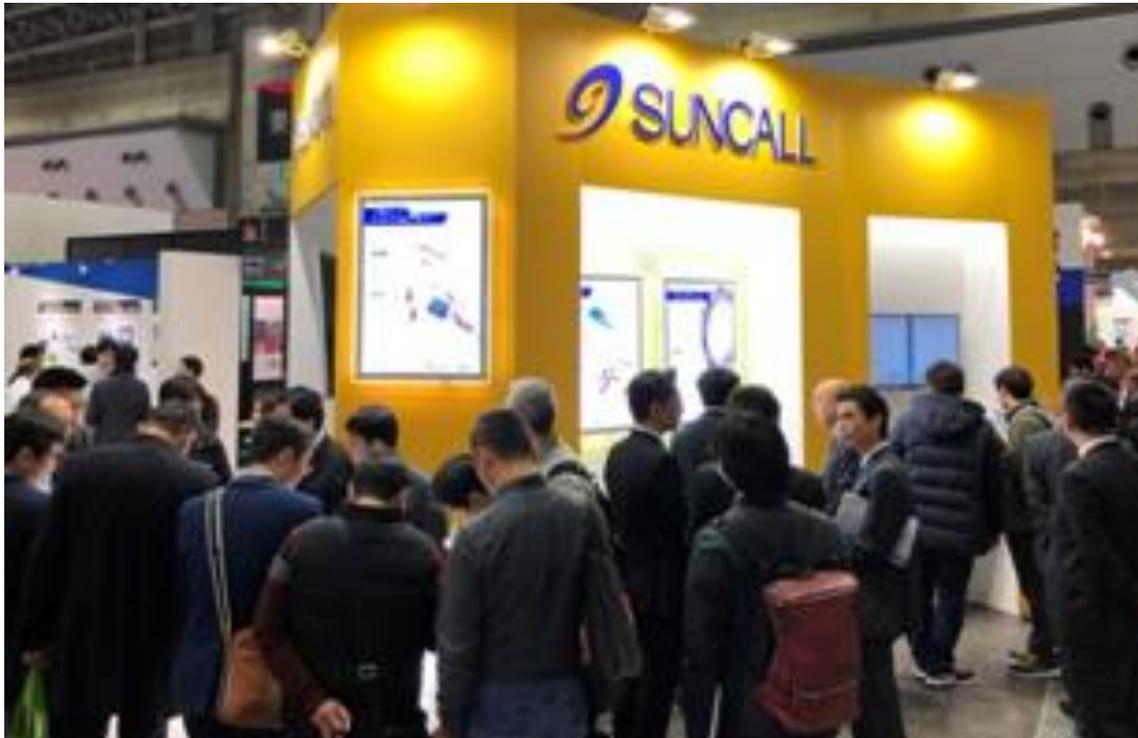


## 4. 開発製品

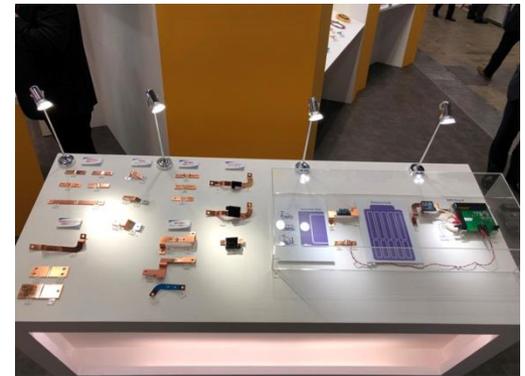
### － 自動車電動化製品 －

－ EV展（オートモティブワールド2018）に出展 －  
2018年 1月17日～1月20日  
東京ビッグサイトにて開催

サンコール 展示ブース



製品展示



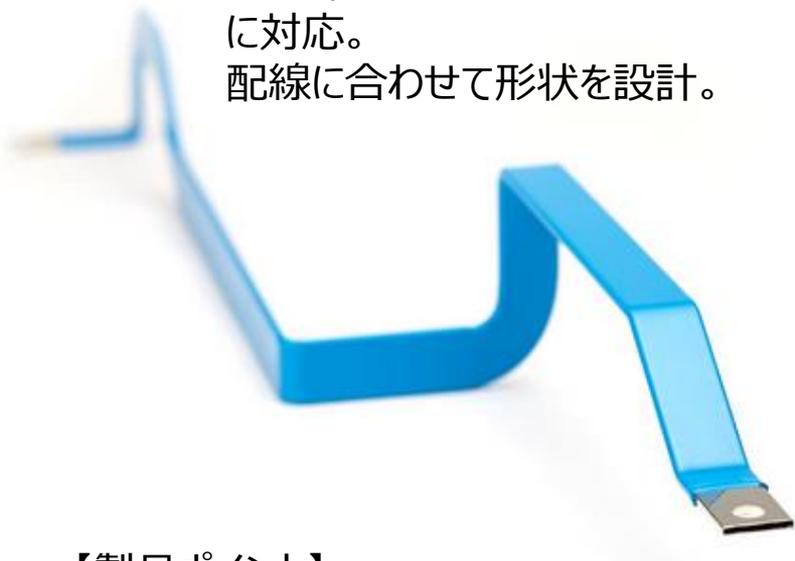
- － 約1000人の方々によるご来場  
（3日間累計）
- － 新規クライアント様含め、  
新製品の受注に向け、拡販  
実施中

# 4. 開発製品

## — 自動車電動化製品 —

### 成長分野への参入：バスバー

自動車EV化による大電流用途  
に対応。  
配線に合わせて形状を設計。



#### 【製品ポイント】

##### フォーミング加工バスバー

- ・金型が不要なため、製作コストや材料ロスを大幅に削減

#### 【製品用途】

- ・モーター、インバータ、バッテリー等のユニット内配線
- ・ワイヤーハーネスからの置換えも可能

#### 【新製品のポイント】

##### 金型加工バスバー

- ・インバータ用途など高精度な寸法精度の設計が可能
- ・粉体塗装や電着塗装などにより絶縁塗装までの一貫生産が可能



##### アルミバスバー

- ・軽量化・コストダウンのニーズに対応
- ・様々な表面処理の提案が可能



##### 多層一体化バスバー

- ・より複雑な形状には薄膜絶縁塗装と溶接接合による多層一体化で対応

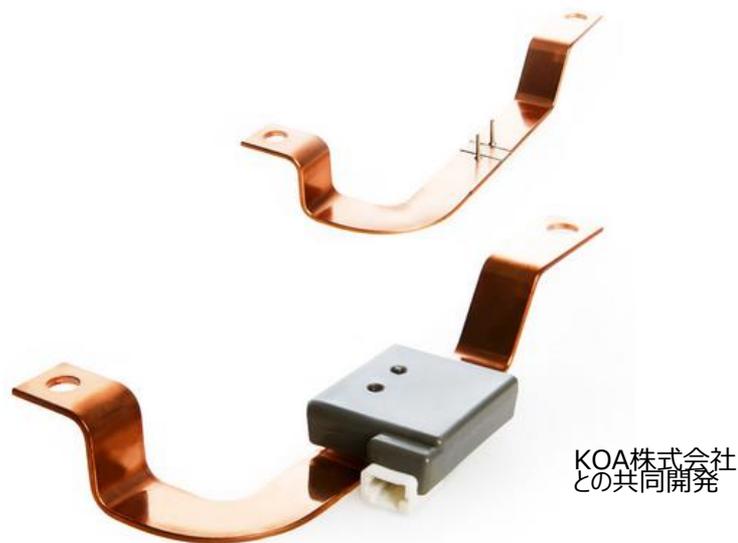


# 4. 開発製品

## — 自動車電動化製品 —

### 成長分野への参入：シャント on バスバー

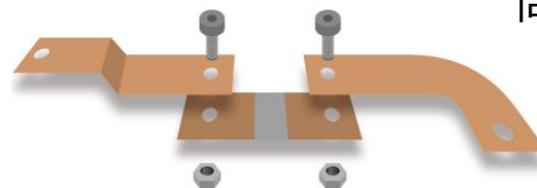
バスバー一体型の電流センサー  
低電流から大電流まで高精度に検出



#### 【製品用途】

- ・車載・産業機器・エネルギー分野における電流検出
- ・バッテリーマネージメントシステム（BMS）
- ・高周波対応が要求されるインバータの電流制御

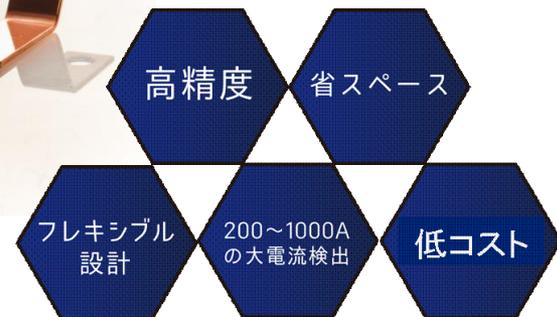
#### 【従来品】



#### 問題点

- ・組立工数・部品点数増加
- ・取付スペース大
- ・締結部発熱の恐れ

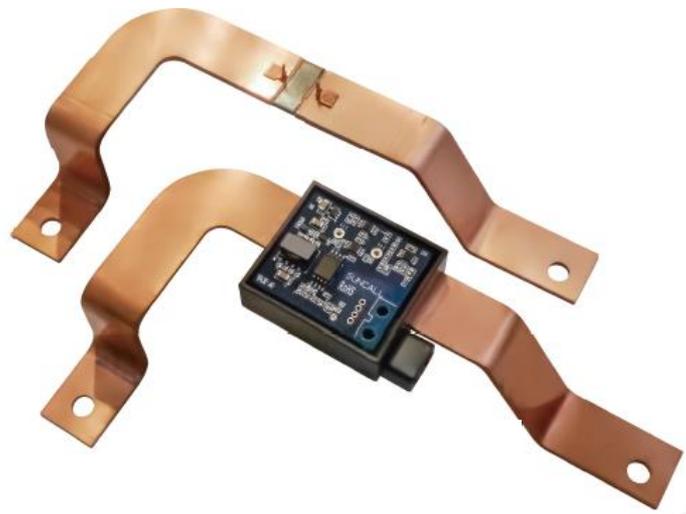
#### シャントonバスバーの特長



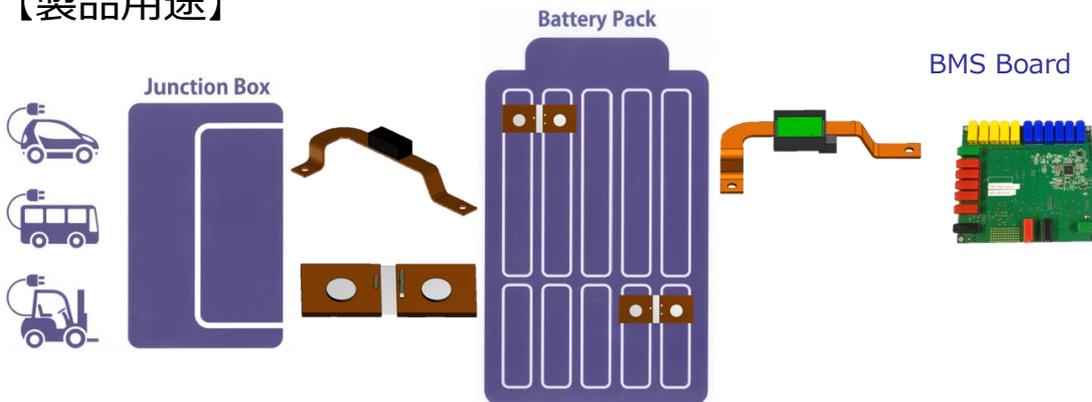
# 4. 開発製品

## — 自動車電動化製品 —

### 成長分野への参入：回路付きシャントセンサー



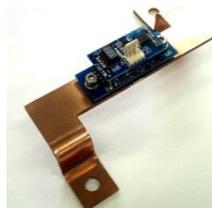
#### 【製品用途】



#### 【製品ポイント】

- ・直線性誤差  $\pm 0.1\%$ 以内を実現
- ・センサーモジュールのカスタム設計  
(デジタル出力・小型化・高精度化など可能)
- ・独自加工技術により様々な端子接合に対応
- ・大電流に対するシャント設計
- ・厚板シャント・放熱性シャント
- ・ $33\mu\Omega$ 抵抗値シャントにより発熱ロス低減

#### 【応用製品】



回路付きシャントセンサー  
(コンパクト型)



ピン体型シャント  
(放熱性シャント)



板厚型シャント  
(放熱性シャント)



フィン型シャント  
(放熱性シャント)



低抵抗シャント



端子整合シャント

# 4. 開発製品

## — 自動車電動化製品 —

### 成長分野への参入：リアクター・リアクトルコイル

美しい電着塗装が  
優れた耐電圧性を発揮。

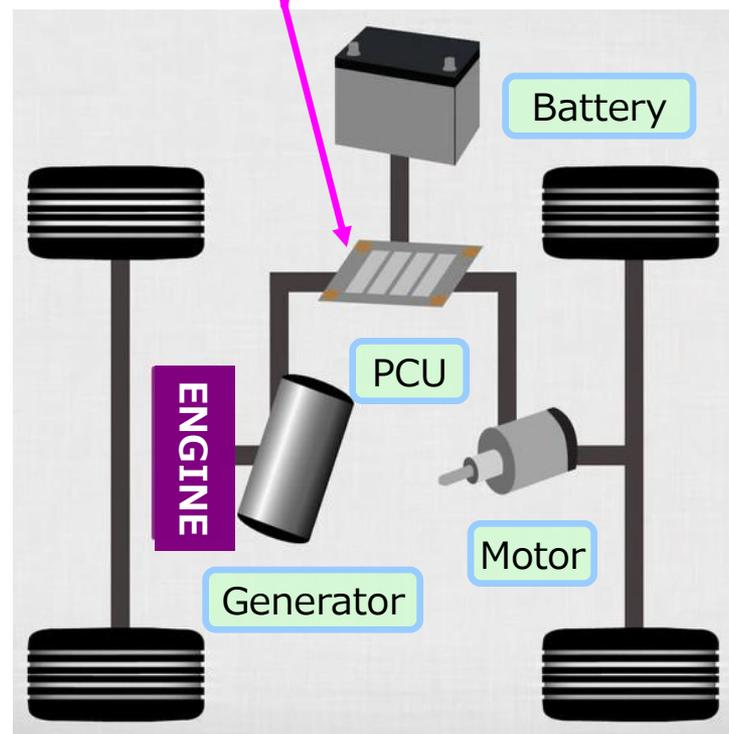


#### 【製品ポイント】

- ・コイル加工後の塗装により塗装膜が均一で優れた耐電圧性を発揮
- ・異形材使用でコイルをコンパクト化
- ・現行ハイブリッド車搭載の電着絶縁塗装採用

#### 【製品用途】

- ・EV車、ハイブリッド車の昇圧用コイル
- ・モーターのステータコイル

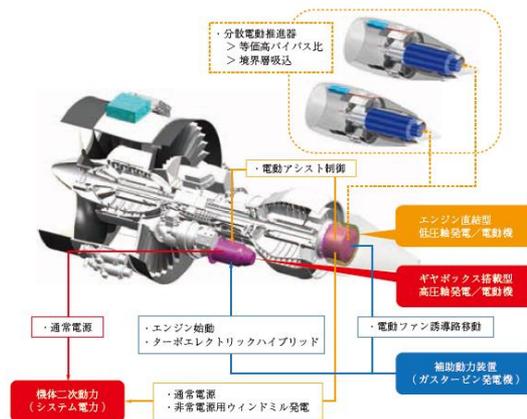


# 4. 開発製品 - 電動化製品 -

## 成長分野への参入：航空機先端技術開発プロジェクトへの参画



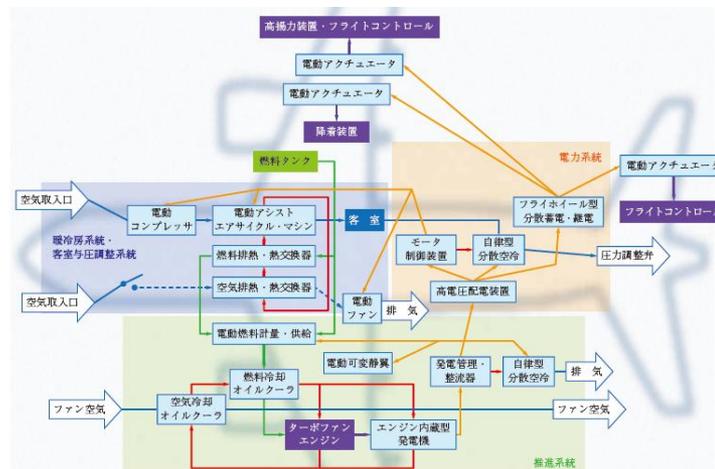
### 【電動推進へのシステム拡張の例】



(株)IHI様技術報告書引用

### 【取組内容】

- 航空機エンジン・アクチュエーターに使用される小型・軽量化モーターの開発プロジェクト
- 従来型油圧式から、環境負荷・経済性を考慮したモーター駆動へのニーズに対応
- IHI様による航空機エンジン電動化プログラムに参画
- 当社で長年培った電着塗装技術を応用  
導体に電着された状態で 300℃, 1000h以上の耐熱性を実証
- 他、電動部品へ技術採用の可能性あり



(注)：□：将来の電動化により刷新・導入される機器  
・二次動力エネルギーの流れ

(株)IHI様技術報告書引用

# 4. 開発製品

## — 環境・エネルギー関連製品 —

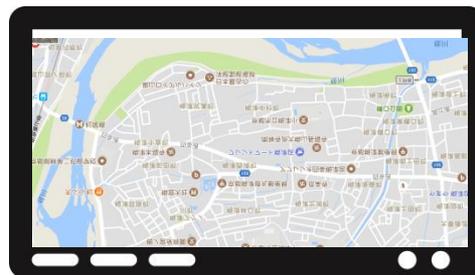
### 環境・エネルギー事業への参入

#### 環境・エネルギー関連製品



炭素材  
炭素材量産装置

竹材からの製造過程で  
CO<sub>2</sub>排出量削減



タッチパネル塗料

竹炭利用炭素材  
量産化製品



固定砥粒ワイヤ  
ダイヤモンド・ワイヤ

太陽光発電用シリコン  
ウェハ切断に使用

# 4. 開発製品

## — 環境・エネルギー関連製品 —

### 新規事業への参入：環境・エネルギー / 炭素材開発 竹炭

京都の会社が京都の竹を利用した  
京都ブランド。

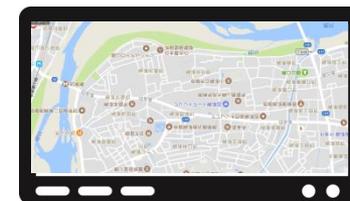
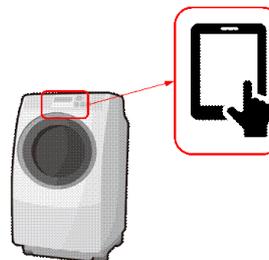


#### 【製品用途】

- ・ゴム用フィラー
- ・脱臭製品
- ・吸放湿製品
- ・塗料・インキの顔料
- ・将来的にキャパシタ

#### 【開発状況】

- ・採用・量産化決定
  - カーナビ用タッチパネル
  - 家電用タッチパネル
- ・その他、車載部品で引合いあり、現在評価中



#### 【今後の取組み】

- ・高絶縁性、漆黒性、粉碎径 3 μの技術を武器に  
カーナビ・スマホ用タッチパネルにも拡販
- ・車関連含め、他業種への展開を進める



# 4. 開発製品

— 医療・介護関連製品 —

## 医療・介護事業への参入



装着型運動支援装置



リハビリロボット  
『オルソロボット』



その他運動支援装置

# 4. 開発製品

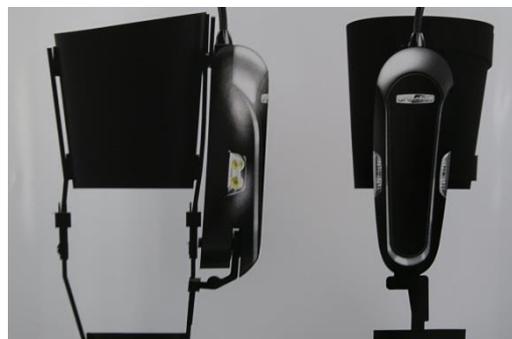
## — 医療・介護関連製品 —

### 新規事業への参入 : 医療・介護 / 装着型運動支援装置

当社の医療・介護機器事業への第一歩。  
リハビリロボット『装置型運動支援装置』



障害の垣根を超える技術の開発。  
リハビリロボット『オルソボット』（商標獲得）



コンセプトデザイン完成

#### 【開発品用途】

脳卒中後の  
歩行リハビリ補助

#### 【開発状況】

- ・新デザイン完成
- ・近年上市予定

※当開発品は当社が参加する京都大学COI(Center Of Innovation)  
拠点グループ2で共同開発を行っています。

#### 【新規取組】

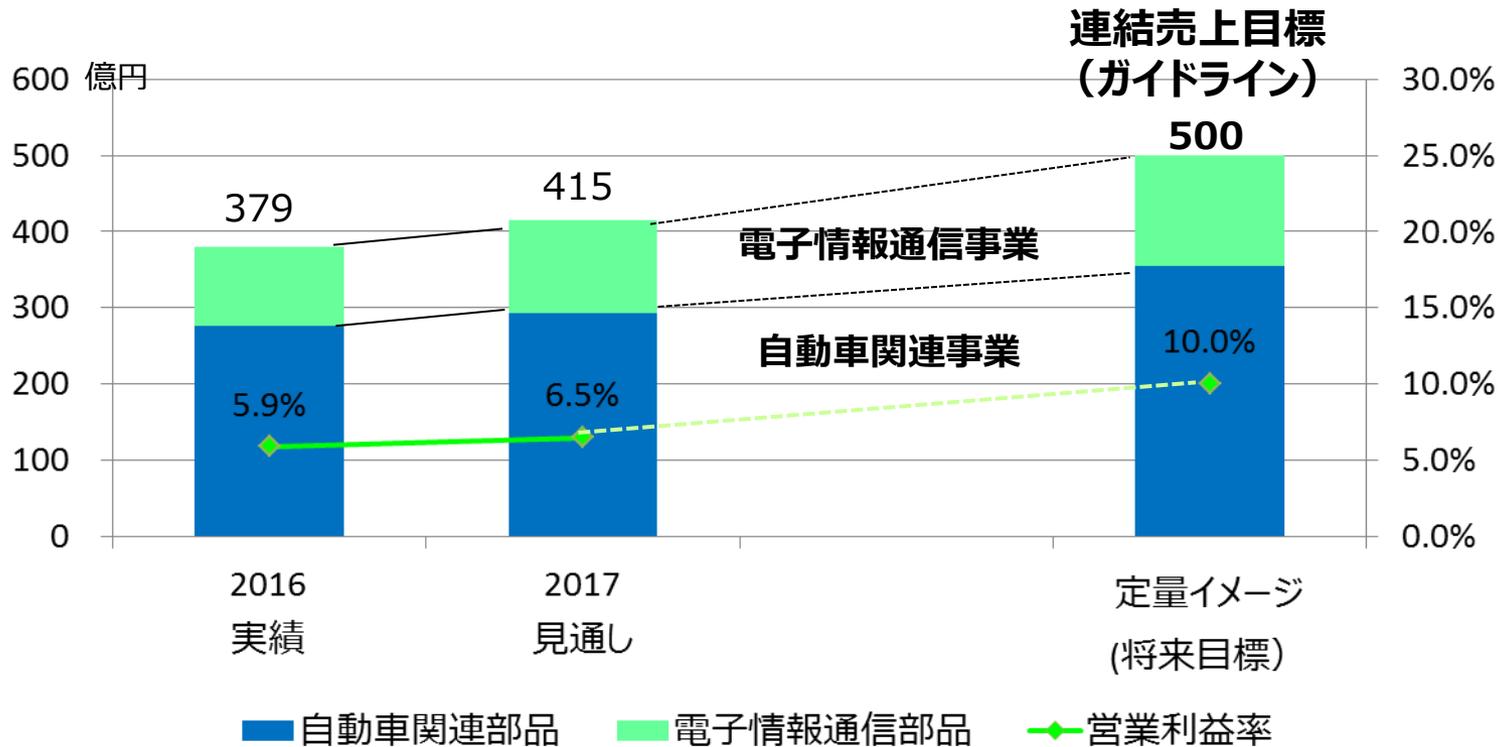
農作業運動支援装置へ応用開発を検討



#### 【開発品特性/目標】

- ・センサー類を本体に内蔵するため装着が簡単
- ・シンプルな構造でより安価に提供できる可能性
- ・日常生活支援への展開

# — 中期経営方針 定量イメージ —



- **定量イメージ** : 連結売上500億円 / 営業利益率 10% (将来目標)
- **配当金 (中期計画期間/2018年までの目標)** :
  - 株主帰属当期純利益に対する配当性向
  - 25億円までの部分 25%
  - 25億円を超える部分 35%
  - 現行配当額1株18円の維持を下限目標とする

**Fine Precision, Nano Solution**

